

エンドペプチダーゼ Clp

Cat. No. EXWM-4184

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 細菌由来の酵素で、2種類のサブユニット、ペプチダーゼ活性を持つClpPとATPアーゼ活性を持つClpAを含んでいます。ATP依存性エンドペプチダーゼ活性を示すClpAP複合体は、(ClpP14ClpA6)2の構成を持っています。ClpPはペプチダーゼファミリーS14の代表的な例です。

別名 エンドペプチダーゼ Ti; カゼイン分解プロテアーゼ; プロテアーゼ Ti; ATP依存性 Clp プロテアーゼ; エンドペプチダーゼ Ti; カゼイン分解プロテアーゼ; ClpP; Clp プロテアーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.21.92

CAS登録番号 110910-59-3

反応 ATPおよびMg²⁺の存在下でのタンパク質の小ペプチドへの加水分解。α-カゼインが通常のテスト基質です。ATPが存在しない場合、5残基末位のオリゴペプチドのみが加水分解されます（例えば、スキシニル-レウ-チロ-NHMe₂やレウ-チロ-レウ-チロ-トリプトファンでは、-チロ-チロ-および-チロ-トリプトファン結合の切断も発生します）。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。お客様の仕様に合わせてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。